

認定看護分野再編の経過

現行の認定分野名	パブリックコメント提示時の案		パブリックコメント後		分野統合・分野名称変更の理由
	再編内容	認定分野名	変更内容	認定分野名 英語名	
緩和ケア Palliative Care	統合	がん緩和ケア	統合については 変更しない 名称を変更する	緩和ケア Palliative Care	統合することで薬剤に関する知識や症状緩和技術などの両分野の強みが活かされ、より幅広く活動できる分野となる。名称については、緩和医療において近年、がんだけでなく非がん患者に対するケアの充実も期待されているため「緩和ケア」とする。
がん性疼痛看護 Cancer Pain Management Nursing					
がん化学療法看護 Cancer Chemotherapy Nursing	名称変更	がん薬物療法看護	変更しない	がん薬物療法看護 Cancer Chemotherapy and Immunotherapy Nursing	がん対策基本法に基づく第3期がん対策推進基本計画(平成30年3月9日閣議決定)から「化学療法」の文言が「薬物療法」に変更されたことを踏まえ変更する。
がん放射線療法看護 Radiation Therapy Nursing	なし	がん放射線療法看護	変更しない	がん放射線療法看護 Radiation Oncology Nursing	
乳がん看護 Breast Cancer Nursing	なし	乳がん看護	変更しない	乳がん看護 Breast Cancer Nursing	
新生児集中ケア Neonatal Intensive Care			統合しない	新生児集中ケア Neonatal Intensive Care	
小児救急看護 Pediatric Emergency Nursing	統合	こどもケア	統合はせず 名称を変更する	小児プライマリケア Pediatric Primary Care	「こどもケア」とすると対象の幅が広く、専門性が希薄となることから新生児集中ケアとは統合せず、小児救急看護は名称を変更する。 プライマリケアとは、「患者の抱える問題の大部分に対処でき、かつ継続的なパートナーシップを築き、家族及び地域という枠組みの中で責任をもって診療が提供されるヘルスケアサービスである(1996年米国国立科学アカデミーより)」ことから、救急場面のみならず外来・地域などのプライマリケアの場を中心として子どもの健康問題に対応できるよう、名称を変更した。
救急看護 Emergency Nursing	統合	クリティカルケア	変更しない	クリティカルケア Critical Care	生命の危機状態にある患者を両分野とも対象としている、また関わる病期も同じであることから、分野の統合について検討を開始した。検討の結果、現代の医療・社会及び施設のニーズから集中的な治療を必要とする患者へのケアに特化した看護師の養成が必要と判断し、両分野の専門性を活かした新たな認定看護分野を創設することとなった。 名称については、クリティカル期(生命の危機的状態)にある重症患者を対象とすることから「クリティカルケア」とした。
集中ケア Intensive Care					
手術看護 Perioperative Nursing	なし	手術看護	変更しない	手術看護 Perioperative Nursing	

現行の認定分野名	パブリックコメント提示時の案		パブリックコメント後		分野統合・分野名称変更の理由
	再編内容	認定分野名	変更内容	認定分野名 英語名	
不妊症看護 Infertility Nursing	名称変更	生殖看護	変更しない	生殖看護 Reproductive Health Care	近年では、「生殖医療」に不妊症が含まれているため名称を変更する。
訪問看護 Visiting Nursing	名称変更	在宅ケア	変更しない	在宅ケア Home Care	退院支援実践者も受講するようになり、「訪問看護」という名称では認定看護師の役割を表現しきれず狭くなってきている。病院所属の看護師にとって「訪問看護」ではない。名称を変えることで、病院に所属する看護師も受講しやすくなることを期待したい。
慢性呼吸器疾患看護 Chronic Respiratory Nursing	名称変更	呼吸器疾患看護	変更しない	呼吸器疾患看護 Respiratory Nursing	急性と慢性が連続性を持っていることから呼吸不全を急性と慢性に区分せず専門的なケアを提供する必要がある。
慢性心不全看護 Chronic Heart Failure Nursing	名称変更	心不全看護	変更しない	心不全看護 Heart Failure Nursing	急性心不全の多くは慢性心不全の急性増悪であり、急性と慢性が連続性を持っていることから心不全を急性と慢性に区分せず専門的なケアを提供する必要がある。
脳卒中リハビリテーション看護 Stroke Rehabilitation Nursing	名称変更	脳卒中看護	変更しない	脳卒中看護 Stroke Nursing	あらゆる場で、看護を提供するとなると「脳卒中リハビリテーション看護」ではなく、全体を考える「脳卒中看護」のほうが適切である。その他の領域もリハビリテーションを実践しているが、名称には入っていない。リハビリテーション＝訓練のイメージになる可能性がある。
透析看護 Dialysis Nursing	名称変更	腎不全看護	変更しない	腎不全看護 Nephrology Nursing	透析導入予防をするためには、透析看護では十分ではない。そのため名称を変更する。
認知症看護 Dementia Nursing	なし	認知症看護	変更しない	認知症看護 Dementia Nursing	
摂食・嚥下障害看護 Dysphagia Nursing	名称変更	摂食嚥下障害看護	変更しない	摂食嚥下障害看護 Dysphagia Nursing	「摂食・嚥下」から「摂食嚥下」という用語へ変わったことから分野名称を変更する。
糖尿病看護 Diabetes Nursing	なし	糖尿病看護	変更しない	糖尿病看護 Diabetes Nursing	
皮膚・排泄ケア Wound, Ostomy and Continenence Nursing	なし	皮膚・排泄ケア	変更しない	皮膚・排泄ケア Wound, Ostomy and Continenence Nursing	
感染管理 Infection Control	なし	感染管理	変更しない	感染管理 Infection Control	